

第 72 号

発行
 〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3
 (公社)いわき市シルバー人材センター
<http://www.silver-brain.com/fukushima/iwaki>
 広報委員会
 TEL 0246-22-1722
 FAX 0246-22-1752

安全講習会



千葉那美子 会員 作品



尾口嘉子 会員 作品

地区班会議



公益社団法人 いわき市シルバー人材センター **会員心得**

1. わたしたちは、シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。
2. わたしたちは、豊かな経験と能力を生かして仕事にとりくみます。
3. わたしたちは、誠心誠意仕事にとりくみます。
4. わたしたちは、社会参加に喜びと生きがいを求めます。
5. わたしたちは、健康と安全に留意します。
6. わたしたちは、会員相互のふれあいを大切にします。

平成30年度事業計画

(3月27日理事会にて決定)

■基本方針

わが国経済は、政府が経済再生と財政健全化を目指し実施した経済政策、機動的な財政政策等で緩やかな回復基調にあり、更なる景気の浮揚も期待されていきますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等から、依然として不安要因を抱えている状況にあります。一方では、急速な少子高齢化による人口減少社会が加速する中、高齢化率(65歳以上人口比)も27・9%という超高齢社会になっており、雇用状況も定年延長や継続雇用制度の改正等もありますが、現実には更なる労働力人口の減少が懸念されており、高齢者の労働能力をいかに有効活用するかが、国を挙げての重要課題となっております。

このような状況の下、地域に密着し、就業を通じて地域社会の要望に応える元気な高齢者が活躍するシルバー人材センター事業が果たす役割は、ますます重要であり、市民の期待も増大しております。

しかしながら、国の行財政改革による、運営費補助金の削減や震災と経済不況に伴う受注減、労働環境の変化による会員数の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然、厳しい状況にあります。

こうした現状を克服するためには、更なる自助努力も必要であり、公益社団法人として真に地域社会に愛され、信頼される団体となるため、公益性のある事業展開を念頭に組織体制の強化とともに会員増強、就業機会の確保、拡大を積極的に図る必要があります。

いわき市をはじめ関係機関の支援と協力を得ながら、会員、役員が一体となった連携を更に強化し、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、今まで以上に会員の主体性や積極性を十分に活かせるセンターとし

て安全・適正就業を基本に更なる事業の基盤拡大と充実発展に努めてまいります。

事業実績目標

- (1) 会員数 一、三〇〇名
- (2) 受託件数 七、〇〇〇件
- (3) 就業延人数 一〇〇、〇〇〇人日
- (4) 契約金額 五〇〇、〇〇〇千円

事業実施計画

一、組織体制の強化

公益社団法人としての組織の充実のため、センターの自主性・主体性を基本に理事会をはじめ班長会議、各種委員会、地区班会議等の有機的な活動の推進を図りながら、より公正で公平な事業運営に努めます。また、いわき市、県連合会、職業安定所等、関係機関との連携も密にし、地域社会のニーズに応え、信頼を高めるため、会員の就業意欲と共働・共助の連帯意識のもと、会員の自主的活動の支援を図り、組織体制の強化に努めます。

二、安全就業の徹底

事業運営の基本である安全就

業を全員で認識し、事故ゼロを目指した事故防止対策は組織を挙げて取り組む必要があります。「安全は全てに優先する」を念頭におき、会員の就業時及び就業途上の事故を未然に防ぐため、今年度も安全・適正就業委員会、安全就業推進員、安全パトロール指導員を中心として定期的な就業現場視察、就業時の安全一声運動の徹底等による注意喚起を積極的に推進します。

また、会報等による啓発とともに各種安全講習会等による安全就業の意識、健康診断の受診促進等による健康意識の高揚に努め、安全就業の徹底を図ります。

三、適正就業の推進

会員の就業形態に応じた法令順守を図りながら、適正就業ガイドラインを踏まえて、公平な就業機会の提供を前提として、就業の分ち合いにより多くの会員が働く喜びと生きがいを感じることができるよう、「就業基準に関する要綱」を基本として、ローテーション就業の推進と就業参加の呼掛けを積極的に行います。

また、今年度も就業率の向上のため未就業会員の体験就業並びにアンケート調査等を実施しながら、働く喜びを享受できるように適正就業の推進に努めます。

四、福祉・家事援助サービス事業の推進

超高齢社会が進展する中、福祉・家事援助サービス事業の需要が年々増加してきている現状を踏まえながら、受注体制の強化を図るため、実践に即した講習会を実施すると共に、発注者、就業会員の多様なニーズを的確に把握しながら、希望に合った仕事の紹介に努めます。

福祉・家事援助サービス事業の充実のため、「福祉の受け手から担い手」を目指して、会員の確保、育成を図り、センターの役割を十分検討しながら少子高齢社会に対応すべく積極的な事業展開を図ります。

五、会員拡大の強化推進

センター事業の根幹をなす会員数を確保するため、会員拡大を最重要課題とし、減少傾向にある会員数を増加させるため、団塊の世代の入会動向を見極め

ながら、入会説明会（原則月5回）の充実を図ると共に、会員の口コミ強化、街頭啓発活動等による積極的な入会促進活動を実施し会員拡大を推進します。多種多様な就業依頼に常に対応できるよう、センター理念に賛同し、自己の知識・経験を活用し、就業を通して社会参加と生きがいづくりを希望する、より多くの健康で働く意欲と能力のある会員の確保に努めます。併せて積極的な呼掛け等により退会抑止に努め、会員拡大を推進します。

六、各種技能講習会の充実・強化

好評を得て、受注量が増加している技能職群、襖張替え、植木剪定、筆耕等の仕事にスムーズに対応できる体制を更に強化するため今年度も技能職群の就業会員育成を目的とした技能講習会の充実を図るとともに、発注者や利用者等により満足いただけるよう接遇研修等、目的に沿った各種講習会も積極的に開催します。また、高齢者の就業支援を前提とした高齢者活躍人材育成事業等の技能講習も県連

合会との連携を図りながら実施します。

七、普及啓発活動、就業機会開拓の推進

シルバー人材センター事業を地域社会に広く理解・浸透させ事業拡大を図るには普及啓発活動は大きな役割を果たします。地域人づくり事業による就業機会創出員の開拓活動と併せ、センターのホームページによるPR、会報、リーフレットの有効活用、街頭啓発活動の実施等、様々な機会を通じて普及啓発に努め、関係機関との連携を図りながら、企業、各種団体、個人

家庭へのPR活動を強化し、普及啓発活動を推進します。また、就業機会の更なる拡大のため、会員、班長、役職員が一丸となり積極的に就業機会の掘り起しに努めると共に、今年度も役職員による事業所訪問等を実施し就業機会の開拓推進に努めます。

八、多様化する就業形態への対応

高年齢者の雇用情勢は法律改正を受け多方面で変わりつつあり、センターで扱う就業形態も

従前からの請負・委任による就業はもとより臨時的・短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業等、より多様化してきております。会員と発注者のニーズを的確に把握しながら、仕事の量的確保、拡大を図るため、業務範囲の要件緩和等も検討しながら労働者派遣事業、職業紹介事業にも積極的に取り組みます。

九、地域社会への貢献と共存

公益社団法人として真に信頼され、親しまれるセンターとなるためには、地域に根ざした協力、協調関係が何にもまして重要であり、共存、共栄の立場から地域あつてのセンターを念頭に感謝の心を持って、今年度も公益目的事業の一端として市内3ヶ所でのゴミ拾い清掃の地域美化奉仕作業、サンシャインマラソンのボランティア参加等の活動を継続し、会員作品展示会等の文化活動も積極的に実施しながら地域社会への貢献と共存を図ります。

安全・適正就業委員会から
会議内容の報告(3月30日開催)

傷害事故11件、賠償責任事故10件と相変らず多発しています。今迄も委員会が開催される度に安全意識について、色々と意見を出し合い、事故の原因や是正などについて検討してきましたが、今回29年度の総括として左記の通り話し合いをしました。

(一)草刈作業者は刈払機修了証(センター発行)を必ず携帯すること。

(二)学校用務員以外は二人作業とすること。

(三)毎朝の作業前の朝礼・作業手順・KY運動の徹底。

30年度は事故0を目指し、各グループリーダーには指導力を発揮していただきたいと思えます。

これから暑くなります。安全管理、健康管理に十分留意下さい。

(安全・適正就業委員長

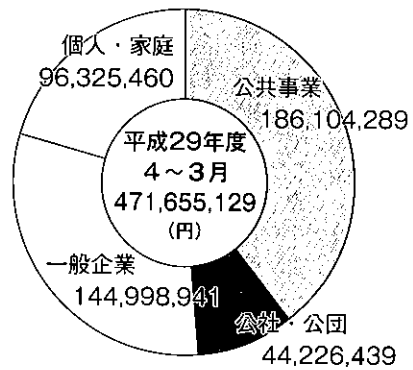
鈴木 英應)

平成29年度事業実績速報

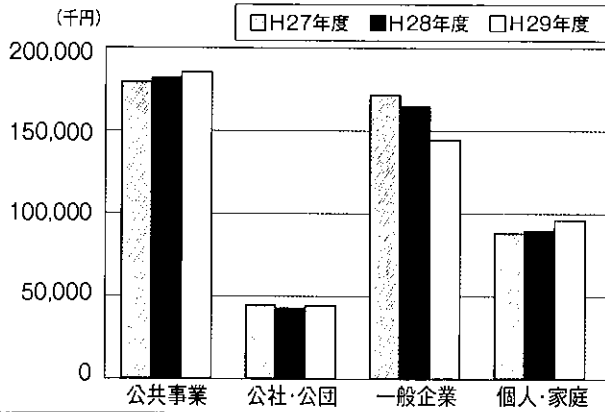
平成29年度事業実績(4月3月)を見ますと、景気の浮揚も多少見えてはいますが依然として低調な経済状況下、会員各位のご努力、市当局並びに関係機関のご協力により事業運営は順調に推移しております。契約金額は残念ながら前年度比で1・9%減となりました。

内訳を見ますと公共事業、公社・公団からの受注は、前年度比で増加しましたが、民間受注は、特に企業からの発注が厳しく、減少傾向にあります。個人・家庭からの受注は増加しました。一方、平成29年度の労働者派遣事業による実績(契約金額14,788千円)は前年度比で39・6%増となっております。

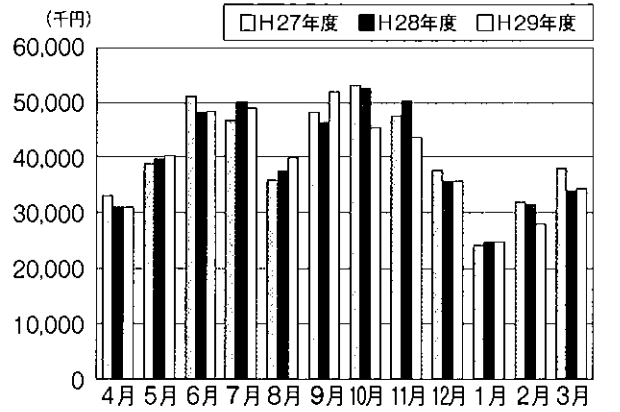
平成29年度発注者別契約金額



年度別・発注者別契約金額(4~3月)



年度別・月別契約金額



地区別会員数 平成30年3月末現在(人)

地区	男	女	計	地区	男	女	計
平	242	88	330	小川	27	4	31
小名浜	179	36	215	久大	9	3	12
勿来	114	37	151	三和	30	8	38
常磐	99	19	118	遠野	14	9	23
内郷	50	21	71	田人	8	4	12
四倉	34	21	55	川前	4	3	7
好間	26	12	38	合計	836	265	1,101

平成30年度
定時総会のお知らせ

平成30年度定時総会を5月31日(木)13時からいわき市文化センター大ホールにて開催いたします。年に一度の重要な会議であり、会員のみならず一堂に会する絶好の機会ですので、万障繰り合わせのうえ、ご参加下さい。

尚本年年度の会費未納の方は、当日納入下さるようお願いいたします。現在事務局でも受け付けております。

(年度会費二千五百円)

いちご取材班!



今回取材班は小

名浜で新車・中古車の販売や車の整備工場を営んでいる

セキシヨウホンダ株式会社、ホンダカーズ福島南、小名浜店を訪ね、シルバー人材センター会員皆さんの就業状況を、店長の馬日広行様にお伺いいたしました。

Qシルバー人材センターにはどのような仕事を依頼されていますか。

A現在、二人の方々に来ていただいております。専ら整備工場などからお客様に納車する車の洗車・車内清掃作業をお願いしております。

Q仕事ぶりはいかがでしょうか。
A若い従業員が多い職場ですが職場の中へも良く溶け込んで一生懸命に就労していただいております。本当に助かっております。

Qシルバー人材センターのイメージはどうでしょうか。

Aはじめは草刈り等の軽作業ばかりをやっている所かと思っ

ていましたが、まだまだ元気に働け、色々な技術を持った方が多く登録されているのではないかと思います。

皆さん何事にも一生懸命に取り組み、仕事も丁寧なのが印象的です。

Q今後、シルバー人材センターに期待すること等、お聞かせください。

A今後ますます高齢化が進み、就労人口が少なくなってくることを考えると、シルバー人材センターの果たす役割は大きいと思います。

車整備の経験者などがいれば情報の提供を考えてはどうでしょうか。

◎御多忙中のところ、ありがとうございます。ありがとうございました。

末永いご愛顧をお願いいたします。

紹介

『中釜戸のシダレモミジ』

小名浜1班 佐藤 聖道

このシダレモミジは、紅葉の季節になると多くの人々が訪れ市内外に知れ渡っている樹木です。現地には大小2本のモミジがあります。傘状に枝が垂れ下がり、幹はねじ曲がり、まるで蛇が天に向かっていているかの様です。現地の説明板によれば「傘の広がり、東西に約10m・南北に約12mほどで、大株の樹高は6・8m・根周り2・75m・胸高直径1・1mです。樹種は「イロハカエデ」で樹幹のねじれ曲がった姿はカエデ本来の習性ではない奇形木で大変珍しいものです」と記されています。このモミジは、昭和12年6月15日に国指定天然記念物に指定されています。カエデ属は日の当る場

おぶち班自慢



所と水を好む樹木であることから、地元では周辺環境を昔のよりに整備して大切に守り続けています。

モミジ類は秋と思いがちですが、新芽の吹き出す時季も圧巻です。会員の皆さんも一度は足を運んでみてはいかがでしょう。場所は、「渡辺町中釜戸字表前117番地の2」となっております。



H30.4.3 撮影

講習会実施報告

(公社) いわき市シルバー人材センター主催

◆筆耕講習会

月日 1月17日(水)
 会場 当センター会議室
 内容 ひらがな・カタカナの50音の書写他

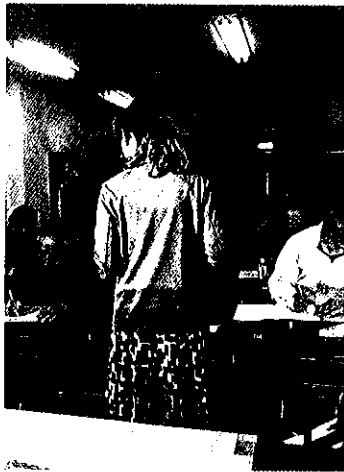
講師 浜松 正猛 会員
 受講者 会員10名

◆管理業務接遇マナー講習会

月日 1月26日(金)
 会場 当センター会議室
 内容 公共事業等管理業務接遇マナー講習

講師 ニチイ学館いわき支店
 志賀 久美氏

受講者 会員16名
 水野むつみ氏



◆刈払機取扱作業安全衛生特別教育講習会(学科教育)

月日 1月30日(火)
 会場 当センター会議室
 内容 刈払機取扱に関する注意点と事故防止について

講師 労働者方式職長教育トレーナー 植松 雅樹氏
 受講者 会員15名

◆刈払機取扱作業安全衛生特別教育講習会(実技教育)

月日 1月31日(水)
 会場 二十世紀の森公園内敷地
 内容 刈払機の安全運転と刈刃の目立てについて

講師 安全・適正就業委員 中島 喜一氏
 受講者 会員16名



◆刈払機メンテナンス講習会

月日 2月20日(火)
 会場 当センター会議室
 内容 刈払機の正しい使い方とメンテナンス方法

講師 やまびこシヤパン株式会社 東北支社福島営業所主任 一級農業機械整備技能士 高田 太郎氏
 受講者 会員17名

◆刃物研ぎ講習会

月日 2月23日(金)
 会場 当センター会議室
 内容 刃物研ぎの方法と技術について

講師 熊谷 智之 会員
 受講者 会員19名



◆雑木剪定講習会

月日 3月12日(日)
 会場 いわき市フラワーセンター
 内容 雑木の剪定講義および実技

講師 有限会社箱根ランドスケープ 代表取締役箱根保光氏 (センター専任講師)
 受講者 会員23名

◆クロマツ剪定講習会(実技)

月日 3月19日(月)(座学)
 3月20日(火)(実技)
 会場 いわき市総合運動公園内

内容 クロマツの剪定における知識と技術について

講師 有限会社箱根ランドスケープ 代表取締役箱根保光氏 (センター専任講師)

受講者 (座学) 会員28名
 (実技) 会員27名



各種講習会のご案内

平成30年度の講習会のご案内です。

I 技能講習

講習会名	日数	募集 延人員	開催 予定期
安全衛生講習会座学	2	30	5月1日
安全衛生講習会実技	2	30	5月1日
筆耕	1	30	5月1日
刃物研ぎ	1	20	11月
接遇	1	30	1月
刈払機メンテナンス	1	30	1月
黒松剪定	2	40	3月
襖・障子張替え	5	50	1月
雑木の剪定	1	40	2月

II 福祉・家事援助サービス講習

講習会名	日数	募集 延人員	開催 予定期
調理実習	1	20	11月
介護講習	1	25	11月
清掃講習	1	30	11月

希望者は、事前に申し込み、申込下さい。日程等が決まり次第、申込者だけに通知します。

(定員を超えた場合は、抽選となります)

(事務局 22・1722)

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小名浜5班 窪山 重光殿 (十二月)

平 2 A 班 四倉 誠二殿 (二月)

平 2 B 班 松本 博殿 (二月)

平 2 C 班 四倉 誠二殿 (二月)

勿来1 A 班 間山 正治殿 (三月)

事務局だより

平成29年度・地区班会議が開催されました。

安全講習会「交通安全講習会」
講話・運転シミュレーション等
講師 いわき市交通安全対策
協議会 交通指導員

地区班会議(地区別出席状況)
(別表1)

1. 班ごとに懇談(自己紹介等)
 2. 班長選出(班長名は別表2)
 3. その他(質疑応答)
- ◆適正就業ガイドラインの説明

地区班会議出席状況

別表1

日程	開催場所	該当地区	会員数	出席者数	出席率
3月2日(金)	好間公民館	好間・三和地区	76名	35名	46.1%
3月5日(月)	内郷公民館	内郷地区	72名	25名	34.7%
3月6日(火)	四倉公民館	四倉・久之浜地区	67名	37名	55.2%
3月8日(木)	小川公民館	小川・川前地区	38名	21名	55.3%
3月9日(金)	市文化センター	平地地区	328名	117名	35.7%
3月13日(火)	勿来市民会館	勿来・田人地区	167名	61名	36.5%
3月15日(木)	常磐公民館	常磐・遠野地区	142名	56名	41.0%
3月16日(金)	小名浜公民館	小名浜地区	220名	87名	39.5%
合計			1,110名	439名	39.5%

※時間 午後1:30~午後3:30まで

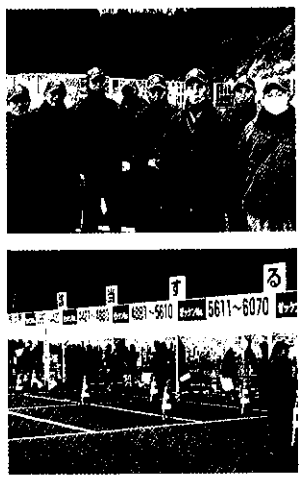
別表2

班長紹介(敬称略)

平成30年4月1日現在

班名	班長名	班名	班長名
平 1	興津博	勿来3 B	新井政彦
平 2 A	平谷ミヤ子	勿来4 A	根上壁彦
平 2 B	齋藤秋雄	勿来4 B	三浦秀智
平 3	深見長	常磐1	氏家昭夫
平 4 A	箱崎孝	常磐2	高萩一昭
平 4 B	川崎正吾	常磐3	田仲良夫
平 5 A	川桃子	常磐4 A	佐藤内良
平 5 B	鈴木金一	常磐4 B	織内武司
平 6 A	八巻登	常磐5	三品正次
平 6 B	鶴沼好光	常磐6	藤田正和
平 6 C	小林栄治	内郷2	鈴木健照
平 7 A	小金野時一	内郷3	下山清志
平 7 B	会田宗雄	内郷4	久野法利
平 8	蓬田丈太郎	内郷5	猪又勝文
平 9	関谷周利	内郷6	加藤治真
平 10	渡辺実	四倉1	矢伏鈴見
小名浜1	佐藤聖	四倉2	新妻邦大
小名浜2	高木朗	四倉3	小湊吉一
小名浜3 A	櫻井征夫	好間1	岡高木
小名浜3 B	和泉好	好間2	高緑川
小名浜3 C	国友貢	好間3	平子
小名浜4 A	佐藤和	好間小	宗像
小名浜4 B	佐藤和	好間小	
小名浜5	櫻井治	久之浜・大久	
小名浜6	村上左司	三和1	
小名浜7	水戸部節	三和2	
勿来1 A	長久保博	遠野	
勿来1 B	金星恒	田人	
勿来2	星通	襖・障子班	
勿来3 A	山下伝	植木	

○印は新班長



◆サンシャインマラソンにボランティアで参加しました。
いわき市が企画するサンシャインマラソンは、2月11日に開催され当センターから43名の会員の皆様の参加をいただきました。厳寒の中大変御苦労さまでした。

◆楽しかった一泊の旅(共助会)
2月15日(木)~16日(金)塔のへつりと大内宿を巡る「冬の会津路と観劇の旅」は、会員56名の参加で実施され、夜の宴会では大変盛り上がり、より一層の親睦を深めることができました。

▷シルバーの未来を拓く…安全就業◁

カメラ 銀の汗ルポ



別広場「さくら観賞会」
月七日(土)午前九時～午後九時
イトップ 午後六時～午後九時

〈小川公民館清掃作業〉

自分で作った季節の花を各部屋やトイレ等に飾るなどし、利用される皆さんが気持ちよく使用出来るよう、清掃等に励んでいます。

(間部 イチ子 会員)



〈あすか製薬工場敷地内清掃作業〉

製薬会社の工場なので、敷地内が常にきれいに保たれているよう、除草や清掃作業に励んでいます。

(尾形・金成 各会員)



〈童子町公共駐車場管理業務〉

利用される方々はもとより、歩行者の安全にも注意を払い、親切明瞭に心がけ、三人交替で頑張っています。

(中村 貞二 会員)



〈ホンダカーズ福島南小名浜店洗車業務〉

お客様からお預かりした大切な車を丁寧に洗車し、「キレイな仕上げ」を心がけ日々頑張っています。

(吉田・小浦 各会員)



〈福島高校内敷地管理業務〉

本校を訪れるお客様や学生の皆さんが気持ちよく過ごせるよう、除草・剪定・清掃等、二人でチームワーク良く頑張っています。

(四家・青木 各会員)



〈赤井公民館清掃作業〉

この仕事を始めてから多くの人と知り合つことが出来、また、「いつもきれいですね」と言われ、嬉しくなり、これからも長く働きたいと思っています。

(村越 ミエ子 会員)

◆あともがき◆

先日の地区班会議で行われた安全講習会では、高齢者(運転者・歩行者共に)の事故が多いことが挙げられました。こうしたら減らせるのか、防げるのか、事例をあげながら、たとえば左右確認する時は首だけ動かすのではなく上体も動かして確実に見る、歩行者は反射板をつけるなどの話がありました。また運転のシミュレーションもあり、わかりやすい講習会でした。

私事になりますが免許証更新のための高齢者講習の葉書が届いたばかりだったので、まさにぴったんこでした。認知機能検査にはまだ数年ありますが、今からドキドキ。それにしても講習所で受ける講習が申し込みから二ヵ月も先になるとは……。青葉の美しい季節、お出かけの際は、どうぞ安全運転で。

- 広報委員長 山本 禎子
- 広報委員 永山 重康
- 広報委員 影山 靖翁
- 広報委員 根本 文彦